

令和8年度 滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程

—がん専門医療人養成コース—

学 生 募 集

(受入可能人数：若干名)

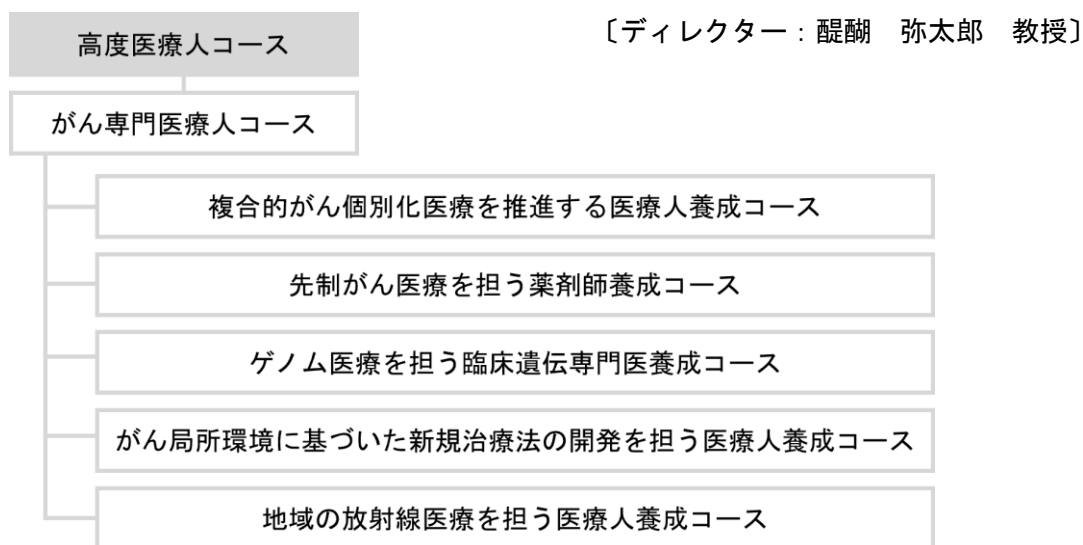
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」は、京都大学を主幹校として滋賀医科大学、三重大学、大阪医科薬科大学、京都薬科大学の5大学が連携し、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築することにより、専門的知識と高度な技術、確固たる倫理観を兼ね備えた多くの博士研究者・がん専門医療人の養成を行う事業です。

本学においては、大学院医学系研究科医学専攻博士課程高度医療人コースの中に、複合的がん個別化医療を推進する医療人養成コース、先制がん医療を担う薬剤師養成コース、ゲノム医療を担う臨床遺伝専門医養成コース、がん局所環境に基づいた新規治療法の開発を担う医療人養成コース、地域の放射線医療を担う医療人養成コースを設置したものです。

また、本コースへの応募は、大学院医学系研究科医学専攻博士課程へ入学を志願（出願）することで兼ねます。出願資格、出願手続等は、同課程の学生募集要項の記載の内容と同じです。

出願に関しては、入学志願票の志望コースを「高度医療人コース がん専門医療人養成コース」とし、講座名等に以下のいずれかのコース名を記入してください。分野名等の記入は不要です。

コ ー ス の 概 要



● 複合的がん個別化医療を推進する医療人養成コース

〔コース責任者：醍醐 弥太郎 教授〕

複合的がん個別化医療に精通したチーム医療を担う医療従事者（医師、医療スタッフ、医療開発研究者等）であるとともに、多角的オミックス情報を用いたがん薬物療法、緩和ケア、ゲノム医療、チーム医療等及びがんの分子病態に基づいた先端的がん医療開発に従事できる高度かつ国際的・学際的能力を備えた人材を育成します。

● 先制がん医療を担う薬剤師養成コース

〔コース責任者：森田 真也 教授〕

がん予防のためには、ゲノミクス・プロテオミクス・メタボロミクスなどのマルチオミクス解析によるがんバイオマーカー探索の研究の推進が必要です。がんバイオマーカーを分析し、医療ビッグデータを適切に解析することで、患者個々に合わせたがん予防ならびに治療を効果的に臨床応用し、エビデンスを蓄積できる薬剤師研究者を養成します。

- **ゲノム医療を担う臨床遺伝専門医養成コース**

〔コース責任者：丸尾 良浩 教授〕

小児血液がんにおける、最新の診断法と最新の治療を熟知し、それを基にして、さらなる小児血液がんの治癒生存率の向上、晩期合併症の軽減をはかるための、新規診断法の開発や、効果的な治療法の開発を遂行できる医療人を育成します。また、がんゲノム医療に対応できる臨床遺伝専門医の育成も行います。

- **がん局所環境に基づいた新規治療法を開発を担う医療人養成コース**

〔コース責任者：三宅 亨 講師〕

がん局所環境によるがん細胞の特性変化に基づいた新規治療法を開発を目指すとともに、今後の研究の継続を担う医療人を育成します。

- **地域の放射線医療を担う医療人養成コース**

〔コース責任者：渡邊 嘉之 教授〕

基礎的ながん放射線治療法に習熟しているばかりでなく、定位放射線治療、強度変調放射線治療、小線源治療などの高度放射線治療にも対応できる高い知識と技能を持った放射線治療医や診療放射線技師及び地域医療機関での放射線治療の質的向上のために、他職種とのチーム医療や教育にも熱意と能力を持った医療人を育成します。

カリキュラムの特徴

「がん専門医療人養成コース」は従来の大学院の枠組みに加え、臨床の専門医や医療資格の獲得を目的としており、学外の病院に勤務している医師や医療スタッフ（社会人）が学修しやすい体制、内容、目的となっています。

また、難治がんに対する複合的ながん個別化医療、先制がん医療、ゲノム医療、がん局所環境に基づいた新規治療、地域の放射線医療を担う医療従事者の養成に重点を置いています。

修了要件

所定の単位以上を修得し、かつ、研究基礎力試験（Qualifying Examination: QE）に合格し、必要な論文指導を受けた上で、論文審査および最終試験に合格すること。

授業科目及び単位数表

「授業科目及び単位数表」参照。

本件に関する問い合わせ先

滋賀医科大学 学務課大学院教育支援係 電話：077-548-2095・2096